**平成３０年度　大阪府大阪市保健医療連絡協議会**

・日時：平成３１年１月３１日（木）１４：００～１６：１５

・場所：大阪市保健所　１２階　研修室 １・２

・委員出席： 25名出席（委員総数34名）

・傍聴人数：10人

**■議題（１）会長・副会長の選出について**

**会長には、中央区東医師会　前久保委員、副会長には、大阪府歯科医師会　北垣委員、大阪府薬剤師会　谷澤委員を選出し、承認された。**

**■議題（２）地域医療構想推進にかかる大阪アプローチについて**

**議題（３）大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況・課題と今後の方向性について**

**（資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明）**

**（資料に基づき、大阪市健康局健康推進部健康施策課から説明）**

　**（医療法人　医誠会から過剰な病床機能である高度急性期へ変更する理由について説明）**

（医誠会説明内容）

　・医誠会病院・城東中央病院を統合再編し、北区に560床の高度急性期病院を計画している。

・医誠会病院・城東中央病院ともに、相当老朽化が進んでおり、建替えが必要である。

・統合後の病院は（高度）急性期でないと運営効率が上手くいかない。

・送迎バスの手配など、東淀川区・城東区には迷惑がかからないように、引き続き診療の対応ができるようにしたい。

・医療ツーリズムも計画している。外国人の受入れを積極的に推進していきたい。

**【主な質問・意見とその回答】**

**（意見）**北区では、高度急性期、急性期の需給バランスはとれており、ベッドはすでに飽和状態であり、各病院が回復期への転換やダウンサイジングを考えている状況である。本来地域医療構想というのは、過剰な病床から不足している病床への転換が原則。医師、看護師等のスタッフの確保問題等もある。

**（意見）**城東区は急性期が少なく、また、慢性期、特に障がい者病棟がなくなるというのは痛手であり、城東区としては非常に厳しい状態になる。

**（意見）**医療ツーリズムについては、積み重ねてきたいろいろな社会資源を、海外の人たちのために消費していいのかという議論がもともとある。稀な病気の治療というものであれば、意味があると思うが、よほど高い医療レベルがないと無理だと思う。

**（医誠会）**大学病院並の高度なことは考えておらず、透析や人間ドックを含めて推進していきたい。

**（意見）**今の説明であると、560床全床を高度急性期とする必要がないのでは。

**（意見）**医療ツーリズムでの健診後の緊急時対応について、自病院で対応できなければ、三次救急の対応が必要となり、１医療機関だけで完結する話ではない。そのため、コンセンサスを得ていない医療ツーリズムについては、大阪府医師会としては反対の立場である。

**（意見）**もう少しきっちりとした基本構想みたいなものを出していただく必要があると思う。

**（意見）**今回の移転は500床を超える大規模なものであり、各保健医療協議会からも意見をもらっている。地域の方々に理解いただく必要がある。地域住民、地域との真摯な話し合いをしていただきたい。現時点の意見を本日確認するため、決議をしていただきたい。

**（会長）**協議会としての意見を確認する意味合いで、決議の形をとることに意義はないですか。

（意義なしと確認）

※決議文読み上げ

　　　　（「医誠会病院移転問題」決議文）『「医誠会病院の移転」は、「大阪市域全体の救急医療提供体制」及び「地域住民が安心して過ごせる病床機能確保」の観点から現状を判断すると「明確な病床機能が地域や各保健医療協議会に示されていない点」また病院ホームページ等からは「医療ツーリズムへの取り組みが記載されており」この点は「地域医療提供体制確保の点からも看過できない」、以上より現段階において「医誠会病院の移転は容認できない」。今市民府民に求められている「医療提供体制の確保」は「地域医療機関との住民本位の連携なくしては実行できない」。まずは「地域住民」「地域医療機関」との「真摯な話し合いを求める事」を決議する。平成31年1月31日大阪市保健医療連絡協議会』

**（会長）**委員より出された意見について、協議会としての意見を集約し確認することに賛成の方、挙手をお願いします。

（出席委員25名のうち、19名が挙手）

**（事務局）**地域との真摯な協議を進めることが重要であるとのご意見いただいた。

ただ、「移転が容認できない」という点は、地域医療構想をもって言えるものではない内容ではないか。

**（意見）**地域医療体制の観点から示したもの。

**（質問）**この決議はどれくらいの効果を持つものなのか。

**（会長）**協議会の意見として確認する意味合いでの決議であり、我々の意見を表明するものである。説明に対し、我々は納得していないという姿勢をはっきりさせておくという意味で一定効果があると思う。

**（事務局）**意見表明することが、どれだけの権限を持っているかという点では、この協議会はそのような位置づけにはなっていないことを理解いただきたい。

**（会長）**それはどの委員も十分承知をしており、決議というのは馴染まないのではないかと思うが、協議会委員の思いとして、納得できるお話をしていただくというところまで経過を見させていただきたいというのが、我々のできる範囲と思っているが、そういう理解でよいか。

（異議なしの声）

**（意見）**レセプトの点数で病床機能を分けていることは問題である。病床機能分化の割合について、方向性を考える機会を持つことは大切であるが、この数字にしばられず、災害時の対応等について考慮する必要があることを確認しておきたい。

**（事務局）**今後の病床機能の分化・連携については、既存病床の中で機能分化を考えていくが、災害時等の対応も含め、必要な病床の確保という点を踏まえながら、地域でご議論いただきたいと考える。

**■議事（４）2019年度地域医療構想推進の進め方（案）について**

**（資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明）**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（意見）**外来の医療体制については、今、国で議論されているが、相当に難しい議論をせねばならず、府においては、慎重に対応頂きたい。

**（意見）**外来の医療体制については、住民の意見をどのように吸い上げるのかという点が大事であり、会議体の中に住民の方を入れるべきである。

**■議事（５）大阪市二次医療圏における第７次大阪府保健医療計画の取組状況の評価について**

**（資料に基づき、大阪市健康局健康推進部健康施策課から説明）**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（意見）**万博や滞在型IRが来ることになれば、昼間・夜間人口の増大が予測されるが、その場合の救急医療体制や依存症に関する医療体制について考えておいていただきたい。

**■議事（６）その他　（報告事項）地域保健医療推進懇話会・保健医療協議会の開催状況について**

**（資料に基づき、大阪市健康局健康推進部健康施策課から報告）**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（質問）**資料５の７頁大阪市南部保健医療協議会の提言について「入院病床」ではなく、「小児入院病床」の記載が正しいのではないか。

　　（追って、資料５の７頁「入院病床を実現すること」を「小児科・産科の入院病床を実現すること」に修正）

**（意見）**地理的条件による交通事情等が改善しない限りは、南海高野線よりも西側の地域にきちっとした形で対策がとれるようなところが必要。

**（意見）**パブリックコメントが出されたということであるが、基本構想の中に、一番大事な小児病床がないということ。これに関しては容認できるものではない。このままいくと、了解したことになるので、少なくともベッドを確保してほしいということを先ほどと同様に提案し、決議をしてほしい。

**（会長）**協議会としての意見を確認する意味合いで、決議の形をとることに意義はないですか。

（意義なしと確認）

※決議文読み上げ

（大阪市立住吉市民病院跡地新病院決議文）『「今回示された、住吉市民病院跡地新病院に小児科病床等が確保されていない基本構想案は、受け入れられない」これまでに「大阪市南部保健医療協議会」での「府市病院統廃合における、大阪市議会での附帯決議の主旨に沿った決議並びに附帯決議」に示されたように、平成30年1月24日開催の同協議会の「跡地にての小児・周産期病床確保が前提である決議並びに附帯決議」を尊重し、その後の「大阪市保健医療連絡協議会」等を経て※平成30年2月6日に開催された「大阪府医療審議会」において、「再編計画」が認められたものである。今回の大阪市が示した提案はこれらすべての会議を無視したものと判断せざるを得ない。本提案は「大阪市議会」、地域を代表とする「大阪市南部保健医療協議会」「大阪市保健医療連絡協議会」「大阪府医療審議会」をないがしろにした提案であり容認できない。「各会議で求められたとおり住吉市民病院跡地での小児科病床等の確保を要望する事を決議する」平成31年1月31日大阪市保健医療連絡協議会』

　　※について正しくは平成30年2月26日に開催

**（会長）**委員の意見に対し、協議会としての姿勢を確認するための決議ということに賛成の方、挙手をお願いします。

（出席委員25名（途中退席者1名）のうち18名が挙手）

**（会長）**我々の基本的な姿勢も考慮していただきながら、進めていただければと思う。

　**閉　会**